

あづみ

[あさかホスピタル家族会・あづみ会]会報 Vol. 25

発行日/2014年3月吉日

発行/[あさかホスピタル家族会・あづみ会]事務局

TEL.024-945-1701



レポート1

《家族会は問題解決の宝庫》 あづみ会副会長 佐々木信夫

昨年十二月、つばさ会主催の地域生活支援研修会が開催されました。研修テーマは「地域で安心して暮らす—当事者・家族支援を考える—」という魅力的なもので、二日間にわたって実施されました。小テーマは、①「家族による家族学習会」②講演「地域で支えるために—アウトリーチの実践から—」の2テーマ・同時間帯の研修でした。どちらか選択しなければなりません。私は、迷わず①を選びました。このことに、高い関心を持っていたからです。一般的に家族会の目的は、会員相互の支援にあります。そして、会員個々人は、不安・苦悩・焦燥感等の坩堝に投げ込まれ、遅く抜け出された方、未だにもがき苦しんでおられる方等、それぞれ貴重な体験を持っておられる方々です。この「体験」は、生かされなければならない一片たりとも捨て去られてはならないと、常々考えておりました。

この度の研修で得た「家族による家族学習会」（以下「会」）は、その想いを実現してくれるように思われました。それでは早速、その「会」の骨子を説明いたしましょう。

「会」の目指すものは、「家族が元気になること」であり、また、家族同士が出会い、経験を共有するこ

とで、家族同士の支え合いの場が得られ、孤独感が和らぎ正しい知識や対応の仕方を学ぶことができます。としています。「会」の基本形は、1回3時間程度で、5～6回を1コースとし、毎回同じ人が参加する。「会」の規模は「担当者」3～6人と、参加者10人以内が理想的。「担当者」とは、担当者研修会を受講し「会」を実施・運営する人のことでもた、困った時にはアドバイザーに応援を求めることができるようになっています。

参加者は、テキストを輪読し、信じあえる仲間の内において、胸中を吐露し合う。このような「会」を、皆さんの力を結集して開催し、「嘆かず・焦らず・諦めず」、当事者が安心できるような家族に変わることができるようになりたいものです。





H25年度あづみ会家族交流会 in Kふあーむ

家族会の会員の皆様から“ぜひ家族交流会をやりたい”との声があがり、H25年11月2日に家族会交流会が当院の関連施設である[Kふあーむ]にて開催されました。天候にも恵まれ、晴天の中多くのご家族様にご参加頂きました。当日は、農場レストランにて食事をしながらご家族同士の交流会、障がいをお持ちの方の就労支援の場面や地域生活の場としてのグループホームの見学等、実りある一日となりました。

そもそもKふあーむとは??

[Kふあーむ(旧福島オーナーズ牧場)]は本宮市にあり、共生事業[チルコロ]の拠点になっています。地域共生事業[チルコロ]とは、[Kふあーむ]全体を活用し、世代や障がいを越えた交流、地産地消を推進し、ともに支え合うきづくりを目的としている事業です。[Kふあーむ]の敷地内には、介護老人福祉施設[しらさわ有寿園]、多機能型支援事業所センター[VIVO(ビーボ)]、グループホーム[カサーレ]が存在しており、それぞれの利用者の方々が生き生きと生活を送っています。また、農場では、鶏や豚、ヤギの飼育がなされ、こだわりの餌を食べて育った鶏の卵や豚の生産がなされるなど、自然豊かなこの土地で様々な取り組みを行っています。

参加されたみなさんの声
「何回か企画して欲しい」
年に何回か企画して欲しいです。久しぶりに皆さんにお会いできました。

参加されたみなさんの声 **「共感を持ちました」**
農場からレストラン、グループホームカサーレ、老人ホームが一体になって運営されていたのには驚きました。職場がもっともっと増えることを願います。渡辺さんの一貫した考え方に共感を持ちました。良い循環を自分の周りでも作ってみたいです。

参加されたみなさんの声 **「楽しく過ごせた」**
農場の見学、グループホームの見学、そして食事を楽しみ、楽しく豊かに過ごさせていただきました。ありがとうございます。毎年、統合失調症の教室の前にこのような交流会をもっていたければありがたいと思います。

参加されたみなさんの声 **「いろいろ教えてもらった」**
今日は天気も良く、スタッフさんから動物のお話などいろいろ教えてもらえて良かったです。また、おいしい食事を食べながら皆さんとお話し出来て、とても良かったです。本当にありがとうございました。今後の皆さんと会うのを楽しみにしています。スタッフの方が親切で本当にありがとうございました。

参加されたみなさんの声 **「感動しました」**
ヤギ、ネラというオランダの鳥を見て感動致しました。食事はカナダに行ったときのようなでした。天気も穏やかで良かったです。ありがとうございました。

参加されたみなさんの声 **「動物とかかわりながら仕事出来る環境に感動」**
障害を持った人達が色々な動物などにかかわりながら仕事ができる環境にとっても感動しました。私の息子も喜んでこの作業所で働いてくれたらと思います。

参加されたみなさんの声 **「少し気持ちが楽になった」**
自分の悩みは皆様方の悩み事ですね。すこし気持ちが楽になりました。又、家からなかなか出られないので、この様な機会をありがたく思います。

参加されたみなさんの声 **「生の声をきけて感激」**
これで2度目です。牧場の諸施設の内容がよく分かりました。カサーレでは直接当人たちに会い話し合うことができ、生の声をきくことができました。感激でした。食事会の交流がもっと中味の濃いものがあったいいと思いました。料理はとてもおいしく、周囲の風景を併せ、マッチしてとてもよかったです。来年もまたやりたいです。

交流会のスケジュール

**①農場見学
(就労支援場面の見学)**
農場長の渡辺氏より、馬、ヤギなどの飼育や農場での作業内容について実際の場面を案内して頂き、作業内容を身近に感じることができました。



**②グループホーム
[カサーレ]見学**
広大な敷地の中にあるグループホームを間近で見ることにより、利用者の目標や自立に向けた生活の場となっていることを実感することができました。



**③農場レストラン[トレンテビアンコ]
～家族交流会～**
イタリア料理に舌鼓をうちながら、ご家族同士で交流を図りました。お一人お一人様々な思いを話して頂き、家族同士の親交を深められたと思います。

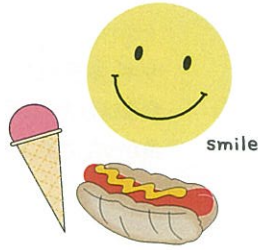


平成25年度 行事報告レポート

食とアートを楽しんで、 心とカラダを元気に!

《あさかホフエスティバル》レポート

H25年9月29日(日)あさかフェスティバルが開催されました。今年度、新たに建設された総合児童発達支援センター「アルバ」の一部を使った会場には、たくさんの方々が訪れました。今回は「食とアート」をテーマに催され、美味しい手作り料理を囲みながら盛り上がる会場は、まさにアートでした。



素敵なハーモニーが響き渡りました♪

《クリスマスコンサート》

H25年12月18日(火)、クリスマスコンサートが催され、今回は郡山第二中学校の合唱部にお越し頂きました。全国大会に出場するほどの完成度の高さは、参加された方々を魅了してやみませんでした。幅広いジャンルの歌を披露し、温かく素敵なハーモニーを届けて頂きました。



[あさかホスピタル家族会・あづみ会]のご案内

患者一人ひとりが一日も早く回復して家族の待つ家に帰り、それぞれに応じた社会生活への適応を果たす…。そのために、悩みを共有する家族が、語り合い、慰め合い、励まし合いながら親睦を図り、助け合っていく—それが[あさかホスピタル家族会・あづみ会]です。医師をはじめスタッフの方々と私たち家族が一体となり、治療環境の充実と、患者の社会復帰をめざしている[あづみ会]へ、より多くのご家族が入会くださることを願っております。



あづみ会 瓦版NEWS

「家族会定例会」開催中

《実施》 毎月第2土曜日
午後14:30～

《場所》 あさかホスピタル
D棟3階レクチャールーム

【編集後記】

今年の冬は雪が少なかった…このひと言で春を迎えるかと思えば、今までの分をまとめて降らせているかのような大雪が降りました。お出かけの時や雪かきの時に苦労されていた方も多く、皆様の中にはしばらく雪とはお別れしたい…そう思った方もいらしたのではないのでしょうか。今年度も残すところあとわずか。この時期は別れと出会いが多い時期であるようです。大変だった大雪ともお別れし、春の素敵な景色に出会えるのが楽しみです。(Y・Y)

“家族会”へのお問い合わせや、入会のお申し込みは、
[あさかホスピタル家族会 あづみ会]事務局まで

TEL.024-945-1701(代表) TEL.024-945-1655(直通)

〒963-0198福島県郡山市安積町笹川字経垣45 <あさかホスピタル 総合相談支援室内>